

事業報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日

【1】概況

本年度は、第三次5ヵ年計画の2年目にあたり、「魅力ある観光都市・ちば」の実現に向け観光資源の発掘、効果的な情報提供、受入体制の強化を重点施策として掲げ、会員ならびに地元関係団体と連携を図り、当年度に計画した観光プロモーション事業、観光施設の運営事業を実施した。

観光プロモーション事業については、創刊から10周年を迎える「千葉とっておき」を、掲載情報の伝達性を高め新たな価値が見出せるよう誌面構成の見直しを行ない8万5千部を発行し、第40回東京モーターショー会場他で配布するとともに、JR駅構内及び市内書店で販売した。さらに、最新の千葉の観光情報をトータルにサポートするため、千葉市と当協会のホームページを統合し、総合的な観光ポータルサイトを確立した。

また、市内の都市観光資源を地域ブランドに繋げる取り組みとして、「千葉の地域資源を活かした地域ブランドづくり」をテーマに千葉観光文化フォーラムを開催し、シティセールスを推進していくために必要な方策について意見交換を行った。

観光施設の運営については、指定管理者として2年目を迎えることから、利用者アンケート等をもとにサービス向上に務めるとともに、自主企画によるイベントの実施により、積極的に利用者誘致活動を展開した。

管理業務については、公益法人制度改革のもと公共性、効率性、自主自立に向けて、経営改善を進めるなか、市外郭団体経営評価委員会ならびに国土交通省関東運輸局の業務検査を受けるなど、組織運営の改善と財務基盤の安定化に務めた。

【2】会議等

1. 第24回通常総会

日時 平成19年5月31日(木) 15時20分～16時50分

場所 三井ガーデンホテル千葉

会員数 766名 出席会員 434名(内委任状 343名)

議題 第1号議案 平成18年度事業報告承認の件

第2号議案 平成18年度収支決算報告承認の件

第3号議案 平成19年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 平成19年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 理事の一部改選について

2. 理事会等

(1) 第1回理事会

平成19年5月24日(木) 10時30分～

千葉中央ツインビル2号館5階 セミナー室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成18年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事、専門委員の一部改選について

第3号議案 新入会員、退会会員の承認について

(2) 第2回理事会

平成19年7月23日(月) 10時30分～

千葉中央ツインビル2号館5階 セミナー室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 専門委員の一部改選について

第2号議案 会員の増強施策について

第3号議案 「千葉とっておき2008」第10号の製作について

第4号議案 観光地美化キャンペーンの実施について

第5号議案 新入会員、退会会員の承認について

(3) 第3回理事会

平成19年12月13日(木) 13時30分～

千葉中央ツインビル2号館9階 第2・3会議室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成20年度事業計画(案)について

第2号議案 第8回千葉観光文化フォーラムの開催について

第3号議案 臨時職員就業規程の改定について

第4号議案 旅費支給規程の一部改定について

第5号議案 新入会員、退会会員の承認について

(4) 第4回理事会

平成20年3月27日(木) 13時30分～

千葉中央ツインビル2号館9階 第3・4会議室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成19年度補正予算について

第2号議案 平成20年度事業計画及び予算について

第3号議案 理事及び監事の選任方法について

第4号議案 給与規程、臨時職員就業規程の一部改定について

第5号議案 新入会員、退会会員の承認について

(5) その他の会議

三 役 会 議	5 月24日	7 月23日	12月13日	3 月27日
総 務 委 員 会	5 月21日	7 月18日	12月11日	3 月25日
企 画 委 員 会	8 月23日	12月 4 日		
観光推進委員会	7 月13日	10月 9 日		
会 計 監 査	5 月15日			
所 館 長 会 議	7 月10日	10月19日	1 月15日	3 月19日
千葉市外郭団体経営評価委員会	11月19日			
関東運輸局業務検査	11月27日			

3. 関係会議

千葉市外郭団体常勤役員会議	3 月12日			
千葉市外郭団体事務局長会議	4 月 6 日	10月24日	3 月 4 日	
千葉秋芳会理事会等	4 月 7 日			
都市景観市民フェスタ実行委員会	4 月11日	5 月28日	7 月17日	9 月21日
	10月15日			
全日本タワー協議会	4 月12日～13日		9 月13日～14日	
まちづくりちば市民の会	4 月16日	5 月12日	6 月18日	7 月23日
	8 月20日	10月15日	11月19日	12月17日
	1 月28日	3 月17日		
ちば観光プロモーション協議会	4 月16日	4 月26日	7 月11日	7 月19日
大道芸フェスティバル実行委員会	4 月19日	1 月24日	2 月 5 日	
千葉市を美しくする会	4 月20日	5 月11日	6 月 5 日	8 月 8 日
	9 月27日	3 月18日		
21世紀の船出プロジェクト実行委員会	4 月23日	7 月11日	1 月29日	
千葉能実行委員会	4 月24日	7 月13日	9 月27日	11月15日
千葉市民花火大会実行委員会	5 月 9 日	5 月17日	6 月19日	7 月26日
	8 月29日	11月16日		
幕張光の祭典実行委員会	5 月 9 日	6 月13日	10月12日	
千葉市中心市街地活性化協議会	5 月11日	7 月24日		
千葉県観光協会	5 月16日	5 月25日	7 月24日	8 月10日
	8 月22日	10月12日	2 月 7 日	3 月25日
日本観光協会	5 月22日	6 月13日		
千葉銀座商店街振興組合総会	5 月22日			
千葉港振興協会総会	5 月23日			
千葉市民オペラ公演会実行委員会	5 月25日	12月18日		
中央地区みはる会	5 月28日	11月28日		

千葉市園芸協会総会	5月29日
千葉市民産業まつり実行委員会	6月1日 7月3日 9月28日 10月4日 12月19日 2月6日
稲毛浅間神社祭礼関係会議	6月1日
中心市街地まちづくり協議会	6月4日 7月27日 10月30日 3月26日
ちばYOSAKOI実行委員会	6月7日 8月27日 10月11日 10月25日 12月12日
千葉地区夏期観光安全対策本部会議	6月8日 9月12日
ちば産業観光連絡協議会	6月11日
千葉ベイエリア観光連盟	6月15日 7月17日 9月19日 2月28日
千葉港まつり実行委員会	6月18日
蓮池合同研究会	6月18日
ベイサイドジャズ実行委員会	6月19日
千葉中央地区商店街協議会総会	6月22日
千葉市商業祭	6月26日
ちばプロモーション協議会	6月29日 7月17日 8月29日 9月20日 2月14日 2月29日
千葉氏フォーラム実行委員会	7月4日 10月1日
千葉神社祭礼関係会議	7月5日 8月30日
アロハフェスティバル実行委員会	7月5日 11月30日
大都市観光協会連絡協議会	7月25日～26日 10月16日～17日
千葉都心イルミネーション実行委員会	9月3日 10月12日 11月26日
九社会意見交換会	9月6日
千葉商工会議所観光サービス部会	9月26日
ツインビル共同防火管理協議会	10月5日
千葉国体千葉市実行委員会	10月24日 3月24日
都道府県・指定都市観光協会連絡会議	11月30日
千葉中央港地区まちづくり推進委員会	12月20日 3月21日
千葉市オリジナル酒造り企画担当者会議	1月22日
千葉城さくら祭り実行委員会	2月13日 3月7日
千葉市優良観光土産品推奨審査委員会	2月20日

【3】事業

〔1〕観光プロモーション事業

1. 観光意識の普及向上

(1) 第8回千葉観光文化フォーラムの開催

2月1日(金)千葉市文化交流プラザのホールにて「地域発の商品・サービスのブランド化」や「地域イメージのブランド化」などの地域ブランド戦略をもとに、千葉市の自然、歴史、文化など全ての地域資源の掘り起こしによる新たな観光資源の開発を推進するため、千葉観光文化フォーラムを開催したところ、310名の参加があり成功裡に終了した。

今回のフォーラムは、ブランド総合研究所代表取締役社長の田中章雄氏に「地域ブランド確立に向けた千葉への期待」と題して基調講演をいただいた。引き続き、ちばぎん総合研究所専務取締役の平田直氏をコーディネーターに、千葉ロッテマリーンズ振興部シニアディレクターの丸山一仁氏、千葉みらい農業協同組合担い手対策室長の須藤謙氏、千葉産直サービス代表取締役の富田捷治氏、ＪＲ東日本千葉支社営業部長の高橋敦司氏の参加により「千葉の地域資源を活かした地域ブランドづくり」をテーマにパネルディスカッションを行ない、千葉には地域資源としてどのようなものがあるか、埋もれている資源をもっと発掘し、それを地域ブランドに仕上げて、将来的に地域活性化につなげていくかについて意見を伺うことができた。

(2) 講演会の開催

5月31日(木)三井ガーデンホテル千葉にて、第24回通常総会時に、幕張メッセ代表取締役社長の中村俊彦氏を講師に迎え、「幕張メッセの集客力から生まれる効果」をテーマに、毎年500万人以上の来場者がある幕張メッセの市場規模をはじめ、ヒト・モノ・情報の交流から生まれる効果について講演をいただいた。

(3) 観光事業功労者の表彰

総会時に、永年にわたり当協会の運営ならびに、千葉市の観光振興に寄与された6名の理事に感謝状と10名の会員に表彰状を贈呈した。

また、11月9日(金)第41回千葉県観光大会功労者表彰にて、当協会より推薦した白扇旅館、サントリー(株)千葉支店、(有)欧都香、中嶋洋志が県観光協会会長表彰を受けた。

2. 観光情報の収集・提供

(1) 新観光情報ホームページの開設

千葉市の観光情報を提供する観光ポータルサイトを構築するため、千葉市と当協会の観光案内サイトを10月に統合し、公共性の高い観光イベントを中心とした行政情報と、食べる・遊ぶなど「千葉とっておき」の情報を同一のホームページに掲載し、利用者への利便性の向上を図った。

(2) 千葉とっておき2008(創刊10号)の発行

創刊10号にあたり掲載店の情報伝達性を高め新たな価値を創出するため1店舗あたりの情報量を拡大し、市内の観光スポット332件を掲載したオフィシャルガイドブック「千葉とっておき」を8万5千部製作。東京モーターショー会場ならびに市内500カ所で配布するとともに、携帯ポケット版をＪＲ駅構内、書店他にて販売した。

(3) 千葉市の観光名所50選の名刺台紙を製作

千葉市が持っている個性や魅力を一人でも多くの人に知ってもらい、「訪れて楽しい、住んでみたい」と感じる観光都市イメージの向上を図るため、市民アンケート等により市内の観光名所50選を選考し、観光写真と花の都ちばのロゴを入れた名刺台紙を製作した。

(4) 会員への観光情報の提供

当協会の発行する「協会だより」「観光情報ニュース」をはじめパンフレットを四半期毎に会員へ送付するとともに、観光写真の貸出しを行った。

3. 観光宣伝及び観光客の誘致

(1) 観光宣伝活動

① 旅フェア2007千葉市観光キャンペーン

4月19日(木)～22日(日)

幕張メッセで開催された旅の総合見本市「旅フェア」に出展し、市内観光モデルコースをはじめ「花の都・ちば」の見所の紹介とタワー型の花壇等を設置した結果、旅フェア来場者が選ぶブース大賞の3位に選ばれた。期間中の来場者は、158,869人であった。

② 第40回東京モーターショー千葉市観光キャンペーン

10月24日(火)～11月11日(日)

幕張メッセの東京モーターショー会場にて、観光キャンペーンブースを設置し、観光パネルの掲出とパンフレットの配布を実施した。期間中の来場者は、1,425,800人であった。

③ 第28回千葉県フラワーフェスティバル観光キャンペーン

1月10日(木)～14日(月) 三越千葉店

県内の花の生産者が育てた洋ラン、鉢花の展示にあわせて、「花の都・ちば」の見所と会員施設を紹介する観光PRコーナーを設置し、パンフレットを配布した。

④ 千葉ベイエリア観光連盟によるキャンペーンへの参加

1月18日(金)観光キャンペーン

千葉県観光協会主催の「ランドマークプラザ・フラワーフェスタ2008」に参加し、早春の観光スポット（花の美術館、動物公園、観光農園他）のPRを行った。

2月8日(金)観光プロモーションツアー

観光連盟の事務局として、出版社、旅行記者等の観光関係者を招請し、連盟エリア内（船橋市、習志野市）の都市観光の魅力を宣伝するとともに雑誌等の紹介記事の促進を図った。

(2) 観光客誘致活動

① 第6回千葉城さくら祭り

3月24日(土)～4月2日(月)

千葉開府の地にあたる亥鼻公園を会場に、ちばDC特別イベントとして、タウンウォーキングをはじめ、ちびっこ広場を新設した結果、期間中の人出は、54,600人であった。

(実施内容)

夜桜ライトアップ、夜桜見学会、茶会（いのはな亭）、タウンウォーキング（2コース）

おしるこの無料配布、地元物産品の販売、観光写真コンクール、ちびっこ広場他

② 第30回記念千葉市民花火大会

8月4日(土)

千葉市、千葉商工会議所、当協会にて実行委員会を組織し、千葉ポートパークで開催した結果、会場内の観客は20万人であった。

(実施内容)

打上げ花火：10号玉（30発） 5号玉（156発） 4号玉（1,890発）

スターマイン（36基） 合計 8,000発

③ 第52回千葉市菊花展同俳句会（市委託事業）

11月1日(木)～11日(日)

花の美術館を会場に、千葉市、千葉秋芳会と共催により菊花展と俳句会を開催した結果、期間中の人出は20,000人であった。 菊花展出品数（366点） 俳句投句数（112句）

④ 千葉ポートタワー クリスマスファンタジー 2007

11月17日(土)～12月25日(火)

千葉市の冬の風物詩として定着したイルミネーションツリーの点灯にあわせて、クリスマスキャンドルナイトをはじめ、千葉ロッテマリーンズデー、ジェフユナイテッド千葉デー他を実施した結果、期間中の来館者は26,431人であった。

⑤ 第18回千葉都心イルミネーション

12月1日(土)～1月14日(月)

千葉市、千葉商工会議所、中央地区商店街と当協会にて実行委員会を組織し、「ふれあい」をテーマに、JR千葉駅から中央公園、京成千葉中央駅周辺にかけて、イルミネーションの点灯を行った。

⑥ 親子三代夏まつり

8月18日(土)～19日(日) 中央公園周辺

安田会長がまつり部会長として、藤倉専務は実行委員として参加した。期間中の人出は、前夜祭 8,500人、本祭り 36万人であった。

⑦ 千葉港まつり

港まつり実行委員会の構成員として参加し、8月16日から22日の千葉神社のみこし渡御の音頭行進の支援を行った。

⑧ アロハフェスティバル in CHIBA 2007

9月15日(土)～16日(日) 中央公園

アロハフェスティバル実行委員会が主催となり、フラのステージ発表、ライブ他のイベントを開催した結果、期間中の人出は2万人であった。当協会からは安田会長が実行委員長、藤倉専務が実行委員として参加した。

⑨ 2007千葉氏フォーラム

10月20日(土) 県教育会館ホール

千葉市、千葉商工会議所、千葉氏顕彰会と当協会にて実行委員会を組織し、「千葉の羽衣

伝承～今よみがえる千葉氏の伝承の世界～」をテーマに基調講演、シンポジウムを開催した結果、400人の参加があった。

⑩ ちばYOSAKOI 2007

10月27日(土)～29日(日) 中央公園周辺、千葉ポートタワー他

ちばYOSAKOI実行委員会が主催となり、地元参加チームによるコンテストを開催した結果、68チーム3,000人の参加があった。当協会からは安田会長が実行委員長、藤倉専務が実行委員として参加した。

⑪ 大道芸フェスティバル in ちば 2008

3月23日(日) 中央公園、きばー他

大道芸フェスティバル実行委員会が主催となり、毎月第4日曜日の大道芸の日ならびにフェスティバルを開催した結果、延べ26,292人の人出であった。当協会からは安田会長が実行委員長、藤倉専務が実行委員として参加した。

(3) その他

① 第34回千葉市民産業まつり

11月3日(土)から4日(日)に開催された産業まつりに、主催団体として参加するとともに、会場内ブースで観光情報の提供を実施した。

② 後援・協賛事業

春まつり、潮風サイクリング、モノレールと街角写真コンテスト、動物公園の四季写真コンテスト、ちばYOSA海幕祭、寒川御浜下りフォトコンテスト、商業祭、のみの市、千葉能、写真千葉県展、都市景観市民フェスタ、幕張光の祭典、エコメッセちば、千葉県俳句大会、親子三代夏祭り撮影会、ベイサイドジャズ、ツールドちば、Club YEG DanSpark、サウンド in ちば、市民春の俳句大会、栄町楽市バザール、千葉県菊花大会他

4. 受入体制の整備・強化

- (1) JNTOよりビジットジャパン案内所(「i」案内所)として認定を受けている観光情報センターにて、ビジットジャパンキャンペーンとタイアップして外国人来訪者に各種案内を実施した。
- (2) 英語版千葉市ガイドブック「CHIBA CITY」を製作し、配布を行った。

5. 観光地の美化清掃

(1) 観光地美化キャンペーン

8月11日(土)に、海水浴シーズン県内有数の観光入込のある「いなげの浜」で美化キャンペーンを開催。当協会役員、会員をはじめ市民ボランティア約100名により、観光客へゴミの持ち帰りを呼びかけるとともに、いなげの浜の清掃活動を実施した。

(2) 中心市街地クリーンアップ作業

3月19日(木)に、中心市街地まちづくり協議会と中央地区みはる会の共催するクリーンアップ作業に、藤倉専務をはじめ役職員が参加し、中心市街地の清掃作業と違法広告物の除去作業を実施した。

- (3) 8月5日(日)千葉市と協力して、花火大会会場(千葉ポートパーク)の清掃を実施した。

6. 観光関係団体との連絡協調

- (1) 千葉市外郭団体等連絡協議会の役員会に藤倉専務、事務局長会に木村事務局長が出席し、各団体の経営改善に関する情報交換を行った。
- (2) 全日本タワー協議会総会に藤倉専務、実務者会議に中嶋館長が出席し、タワー運営に関する意見交換を行った。 4月12～13日(鳥取夢みなとタワー) 9月13日～14日(京都タワー)
- (3) 大都市観光協会連絡協議会総会に藤倉専務、内藤副主査が参加し、各都市における現状課題に関する議案について討議するとともに、平成20年度の協議会幹事が当協会に決定した。事務主管者会議には木村事務局長、永作主任が参加した。 7月25日～26日、10月16日～17日(大阪市)
- (4) 日本観光協会の観光情報に関する連絡会議に職員が参加し、全国地域観光情報センター事業について意見交換を行った。
- (5) 千葉ベイエリア観光連盟の事務局として、観光客誘致活動を実施した。
(総会) 6月15日、(理事会) 9月19日、(担当者会議) 7月17日、2月28日

7. 観光情報センターの運営(JR千葉駅・JR海浜幕張駅)

- (1) 観光情報センター実施計画及び幕張観光情報センターの基本協定に基づき、ちばDCをはじめ第40回東京モーターショー他の開催による国内外からの来訪者に観光情報の提供を行なった。
- (2) 利用状況

案 内 項 目		千葉市観光情報センター (JR千葉駅)	千葉市幕張観光情報センター (JR海浜幕張駅)
市 内 案 内	公 共 施 設 案 内	3,087件	2,273件
	レ ジ ャ ー 案 内 (ホテル・旅館・観光施設)	7,355件	4,669件
	イ ベ ン ト 案 内	2,039件	3,659件
	ビ ジ ネ ス ・ 生 活 案 内 (民間施設・ショッピング・飲食)	8,654件	17,146件
	交 通 機 関 案 内	5,941件	4,961件
	市 内 案 内 計	27,076件	32,708件
市 外 案 内		3,723件	6,432件
総 計		30,799件	39,140件
(内外国人案内)		(2,427件)	(4,444件)
(内インターフォン案内)		(37件)	

[2] 観光施設の管理運営及び収益事業

1. 千葉市ユースホステル等の管理運営

(1) 指定管理者として2年目を迎えるにあたり、団体利用の拡大を図るため7月より予約受付を1年前から始めるとともに、ホタル見学会等の自主企画イベントを実施した。

(2) 利用状況

利用者総数		15,489名
内 訳	ユースホステル	3,494名
	キャンプ場	11,995名
利用料金収入		8,207,700円
内 訳	ユースホステル	7,131,500円
	キャンプ場	1,076,200円

2. 亥鼻公園集会所の管理運営

(1) 指定管理者制度の2年目にあたり、茶会グループ等の誘致に向け営業活動を実施した。

(2) 利用状況

利用件数(利用者数)	105件(2,180名)
利用料金収入	176,610円

3. 千葉ポートタワーの管理運営

(1) 指定管理者制度の2年目にあたり、クリスマスイベントなど自主企画イベントを実施するとともに団体利用を増やすため「ガイドツアー」等を積極的に行った。

(2) 利用状況

入館者総数		157,665名
内 訳	有料入館者	101,856名
	無料入館者	55,809名
利用料金収入		37,908,957円
内 訳	入館料	37,007,057円
	望遠鏡使用料	901,900円

4. 観光施設利用者への利便の提供と物品販売

(1) 千葉市ユースホステル食堂の運営

ユースホステル食堂にて、地元野菜を取り入れた食事を提供するとともに、キャンプ場利用者にバーベキュー用具の貸出しを行なった。

(2) 千葉ポートタワー売店・ラウンジの運営

ポートタワー1階の売店にて、「花の都・ちば」のオリジナル商品をはじめ千葉産ソフトクリーム他を販売するとともに、展望ラウンジにて、パーティールームを活用したグループ、団体利用の誘致を行なった。また、次年度に向け売店、ラウンジの経営方針ならびに営業内容の見直しを実施した。

(3) 亥鼻公園茶店の運営

亥鼻公園、茶室の利用者に、市推奨土産品「いのはな団子」をはじめ甘味類の販売を行なうとともに、イベント開催時に臨時売店を設置し、地元物産品の販売を行なった。

(4) ツインビルレストラン及びマリンスタジアムレストランの運営

ツインビルレストランについては、営業形態の見直しを行ない、地産地消を推奨する店舗を目指し、ちば家庭料理「味工房」として6月にリニューアルオープンした。また、マリンスタジアムレストランについても、店舗名を「フードコートちば」として、スタジアム名物になった「もつ煮」をはじめ地元食材を活かしたメニューを提供した。

(5) 煙草の販売

競輪場ならびに当協会の事業所で煙草販売を行ない、施設利用者への利便提供を図った。

[3] 管理業務

1. 組織の強化及び業務推進態勢の整備

(1) 会員組織の強化

平成19年度当初は766名の会員のもと、観光、コンベンションを産業分野としてとらえ、来訪者を増やすことにより地元経済の活性化と文化の向上に資するため、会員の参画事業及び会員特典の見直しを行ない会員増強活動を展開したが、事業廃止等による退会者も多く、入会33名に対し退会46名となり753名の会員数となった。

(2) 業務推進態勢の整備

第三次5ヵ年計画に基づき、公共性・効率性・自主自立の視点から経営健全化を図るため、給与規程、旅費支給規程、臨時職員就業規程の改定を実施した。

(3) 産業分類に基づき会員の業種区分を行ない、会員名簿2007を作成した。